

講義コード	11C0286800	授業形態	講義	事前登録の有無	あり	担当教員	金田 美加	開講期	通年
科目名	地方財政								
履修前提条件					備考				
授業の目的	本講義は、地方財政の基本的な知識を習得し、わが国の地方政府の活動を論理的な視点で考えることができるようになることを目的とする。そのため、地方財政の基礎理論を学んでいく。								
到達目標	地方財政に関する基礎力を身につけ、地方財政制度や機能・役割を理解できること。								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	各回に取り組んだ問題は必ず自分で解いて復習する、項目については語句説明文を作成する等の復習を行うこと。特に将来、公務員試験などの受験に臨むことを視野に入れている場合は、通年で120時間以上を目安とした授業外学修を行うことが望ましい。								
授業計画	<p>第1期</p> <p>【第1回】 第1期ガイダンス（講義の内容と進め方）</p> <p>【第2回】 地方財政の機能と役割（政府の役割と分類、権限の委譲と権能差など）</p> <p>【第3回】 地方財政の現状（地方財政の構造、経常収支比率と財政力指数、財政健全化法）</p> <p>【第4回】 国と地方の財政関係①（地方財政計画、国と地方のプライマリーバランス）</p> <p>【第5回】 国と地方の財政関係②（補助金制度、地域経済の活性化など）</p> <p>【第6回】 地方債（地方債計画と地方債の現状）</p> <p>【第7回】 公共財の理論①（サミュエルソン条件など）</p> <p>【第8回】 公共財の理論②（公共財の最適配分と供給メカニズム [リンダールメカニズム] など）</p> <p>【第9回】 公共財の理論③（公共財供給メカニズム [クラークメカニズム、中位投票者定理] など）</p> <p>【第10回】 公共財の理論④（生産と予算の効率性など）</p> <p>【第11回】 地方公共財とスπιルオーバー問題</p> <p>【第12回】 地方公共財理論①（地方分権化定理）</p> <p>【第13回】 地方公共財理論②（ティボー理論）</p> <p>【第14回】 地方公共財理論②（クラブ財の理論）</p> <p>【第15回】 第1期の総括</p> <p>第2期</p> <p>【第16回（第1回）】 第2期ガイダンス（講義の内容と進め方）と第1期の復習 （※通年履修の希望者に対し試験結果の返却）</p> <p>【第17回（第2回）】 地方税原則と税源配分（租税原則と地方税原則など）</p> <p>【第18回（第3回）】 地方税制度の現状（租税収入、国際比較など）</p> <p>【第19回（第4回）】 租税の各論①（所得課税と消費課税）</p> <p>【第20回（第5回）】 租税の各論②（資本課税の理論 [土地課税、資本化など]）</p> <p>【第21回（第6回）】 租税による外部性と地方財政①（重複課税）</p> <p>【第22回（第7回）】 租税による外部性と地方財政②（租税輸出）</p> <p>【第23回（第8回）】 租税による外部性と地方財政③（租税競争）</p> <p>【第24回（第9回）】 所得再分配機能と地方政府（福祉移住と地方債の食い逃げなど）</p> <p>【第25回（第10回）】 政府間財政移転の理論①（補助金の種類と政府の予算制約線のシフトなど）</p> <p>【第26回（第11回）】 政府間財政移転の理論②（一般補助金と特定補助金の比較など）</p> <p>【第27回（第12回）】 地方交付税制度①（フライペーパー効果など）</p> <p>【第28回（第13回）】 地方交付税制度②（ソフトな予算制約など）</p> <p>【第29回（第14回）】 政府間補助金の政治経済分析</p> <p>【第30回（第15回）】 第2期の総括</p>								
成績評価の方法	<p>●通年科目として履修する場合、第1期および第2期の定期試験（100%）により評価する。 （単位修得は計2回の定期試験の平均点が60点以上であること。なお、定期試験を2回とも受けなければ評価対象者とならないため注意すること。）</p> <p>●半期科目として履修する場合は、定期試験（100%）により評価する。 （単位修得は定期試験の平均点が60点以上であること。）</p>								
フィードバックの内容									
教科書 指定図書	特に指定しない。必要に応じ、教員が用意した資料等の配布を共有ストレージにて行う。								
参考書	『地方財政論入門』佐藤主光（新世社）2009、『入門地方財政 第3版』林宏浩、橋本恭之（中央経済社）2014、『新しい地方財政論』中井英雄、齊藤慎、堀場勇夫、戸谷裕之（有斐閣）2010								
教員からのお知らせ	成績評価の詳細、および配布資料のパスワードについては、初回ガイダンスにて説明を行う。 ミクロ経済学と公共経済学および財政学に関する基礎知識があると望ましい。								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。								
その他	第2～14回、第16～29回（第2期第1～14回）の講義内容については、履修者の理解度に応じて、講義の順番や内容を変更する場合がある。								